



2009 おでやれ鬼無里 イベント カレンダー

- 4月** 鬼無里イヤー開祭式・鬼無里寺子屋塾(4/12)
志の輔落語会(4/12)
奥裾花自然園安全祈願祭(4/25)
ブナと水芭蕉ライン完成命名式(4/25)
里山景観を良くし交流する事業(4/19)
農作業体験と料理講習会(春 4/27,28)
奥裾花自然観察会(4/25)
桜めぐりウォーキング(4/15~30)

- 5月** 鬼無里寺子屋塾(5/16)
奥裾花自然観察会(5/17)
水芭蕉まつり(5/16)
・長野市内太鼓の共演
・森のコンサート
酒米お田植まつり(5/23)
歴史伝説史跡めぐりツアー(5/29)
峠トレッキング(柄山峠 5/4)
里山登山(一夜山 5/24、砂鉢山 5/17)
木曾義仲祭(5/15~16)



ふとこほ深きふるさとへ

- 6月** ふるさと鬼無里おでやれ(6/6~7)
おでやれ鬼無里ブナの森(6/6~7)
花菖蒲とホタル観賞会(6/26~7/15)
農作業体験と料理講習会(春 6/22,23)
奥裾花自然観察会(6/28)
歴史伝説史跡めぐりツアー(6/19)
おでやれ鬼無里俳句大会(6/27~28)

- 7月** 花と文化財めぐりウォーキング
農作業体験と料理講習会(春 7/27,28)
奥裾花自然観察会(7/12)
歴史伝説史跡めぐりツアー
峠トレッキング(大洞峠)

里山での農業体験と
ふるさとの味でおもてなし

- 8月** 山居仏特別展(8月~10月)
鬼無里ふるさと夏まつり(8/15)
劇団「演奏舞台」特別公演(8/22)
奥裾花自然観察会(8/9)
歴史伝説史跡めぐりツアー

口マン溢れる歴史と伝説の里をご案内

- 9月** 山居仏特別展(8月~10月)
農作業体験と料理講習会(秋)
奥裾花自然観察会(9/6)
歴史伝説史跡めぐりツアー

豊かな自然と美しい景観の観察・ウォーキング

花いっぱい交流事業で鬼無里を美しく



- 10月** 山居仏特別展(8月~10月)
鬼女もみじ祭り(10/18)
ふるさと鬼無里おでやれ(10/17~18)
鬼無里商工祭り(10/18)
おでやれ鬼無里ブナの森(10/24~25)
「山村でシャンソン」コンサート(10/24)
アルプス眺望トレッキング
農作業体験と料理講習会(秋)
奥裾花自然観察会(10/17)
歴史伝説史跡めぐりツアー
里山登山(一夜山、砂鉢山)



鬼無里の伝統の祭りと多彩なイベントでお楽しみ

ふるさと鬼無里発見フォトコンテスト 募集期間：H21.2月~H22.1

- 11月** 鬼無里ランランカーニバル(11/3)
農作業体験と料理講習会(秋)
峠トレッキング(柄山峠)

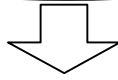
- 12月~3月** 伝統食の料理講習会(月1回)
地区内の各集落のどんど焼き 1月
地産地消と伝統食に関する講演会 2月
鬼無里寺子屋塾 2月
雪合戦大会 2月
鬼無里イヤー閉祭式 3月



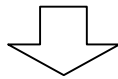
イベント等の名称や期日は予定です。詳細はホームページをご覧ください。か、
実行委員会までご連絡をお願いします。

鬼無里イヤー実行委員会 電話026-256-2213
FAX026-256-2237
<http://www.tgk.janis.or.jp/kinasatiku/>

日本文化の原風景
ふるさと「鬼無里」の地で
新しい観光スタイルとライフスタイルを
再構成



「鬼無里」の豊かな観光資源を生かし、
自然と歴史と文化の継承に配慮した
「心のふるさとコンシャス(らしさ)」の顕在化



鬼無里を訪れる人に、「どうぞおいでください。」精一杯素朴で
温かなおもてなしの気持ちをこめた、鬼無里の方言

おでやれ鬼無里

口ハスな客人(まろうど)を対象にふるさとコンシャスな
キャンペーンを展開

観光キャンペーン「鬼無里イヤー」の概要

目的

豊かで美しい自然に抱かれた伝統と文化の里「鬼無里」。その魅力を全国にアピールする本キャンペーンは、長野市の「1200万人観光交流プラン」の一環として、県営林道大川線（鬼無里）完成に併せて実施する観光キャンペーンです。本キャンペーンを通じ、鬼無里の持つ潜在的魅力を掘り起こし、現在の観光ブランド「ブナと水芭蕉の里鬼無里」を基軸に、より幅広く強固なものとする事で、「多軸型観光都市ながの」の実現を目指すとともに、地域住民の一体感を促し、今後の新たな鬼無里観光のスタート元年と位置付けます。

実施主体

主催：鬼無里イヤー実行委員会

（鬼無里地区住民自治協議会・鬼無里観光振興会合同特別プロジェクト）

協力：長野市観光課、財団法人ながの観光コンベンションビューロー

キャンペーン期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日

集客目標

平成19年度の観光客数実績の約1.2倍にあたる年間18.5万人。